



審査の様子（意見を述べる小嶋一浩部会長と間近で見守る提案者等）

広島県内の若手建築士を対象とした「ひろしま建築設計コンペU-40 2015」の最終審査が、11月8日に旧日本銀行広島支店で開催されました。

このコンペは、魅力ある建築物の持続的な創造に向けた、クリエイティブな人材の育成を目的として、広島県が初めて開催しました。

老朽化した「旧広島みなと公園トイレ」の改築に当たり、県が委託する設計者をコンペティション（設計競技方式）により選定するもので、広島県では（恐らく）史上初の試みです。

審査部会長は小嶋一浩氏。広島で活躍されている土井一秀氏、吉田豊氏に加え、県の西尾保之氏、宮地正人氏が審査委員として参加しました。

最終審査では、まず1次審査を通過した5者による公開プレゼンテーションと質疑応答が行われ、その後に、審査部会による審査が行われました。

審査の過程は全て公開で行われ、プレゼンを終えたばかりの提案者や多くの見学者の目の前で、審査員が議論し、最優秀作品1点と優秀作品2点を決定しました。

●最優秀作品は石川誠氏（石川誠建築設計事務所）

部会長講評＝群れをなす屋根のきれいなシルエットと屋根の下の半外部空間が木立にとけ込んだ建築。綿密な検討によってそれを実現しようとする提案全体の持つ説得力に支持が集まって最優秀賞を獲得した。

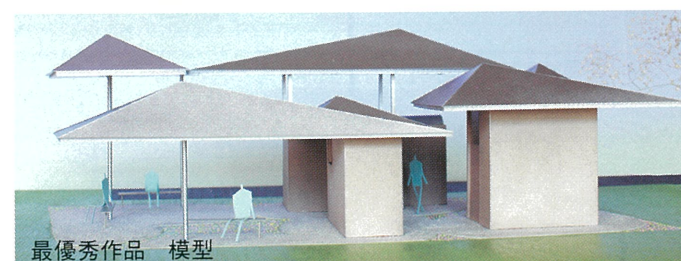
今後、石川誠氏により設計が進められ、来年度中には竣工する予定です。

この若手コンペと同時に、第3回目となった「ひろしま建築学生チャレンジコンペ」も同じ宇品地区の公衆トイレを対象に開催されました。数年後には、隣接する場所に、石川誠氏によるトイレと学生たちによるトイレが、それぞれ完成します。

若手・学生も含めクリエイティブな人材がどんどん活躍し、新しい建築があちこちで生まれる魅力的な広島県の実現に向け、取り組みはまだ始まったばかりです。



表彰式（小嶋一浩部会長と石川誠氏）



最優秀作品 模型

※コンペの詳細は県HPをご覧ください。

U-40コンペ

検索

建築士

IROSHIMA





## 表紙写真について

M邸

●設計監理／CASA×LABO

株式会社 幸工務店一級建築設計事務所

●施工／株式会社 幸工務店

●所在地／福山市内

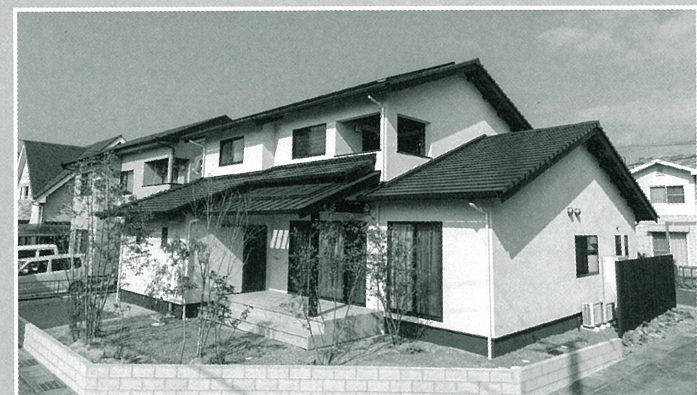
●構造規模／木造 2階建

●延床面積／200.99㎡

●竣工／2015年8月

福山市内に建つビルトインガレージを併せ持つ個人住宅。夫婦2人のためのこの建物は、閑静な住宅街に建ち、3方道路に囲まれる。外内観ともに和風要素を保ちつつ、多様な仕上げや設備を取り入れてある。

しっかりと出た軒は、化粧垂木および軒裏、破風板で切妻屋根のリズムを作っているが、和型瓦ではなく高反射タイプ平板瓦を用いることで、よりすっきりとしたデザインになっただけでなく、赤外線反射率が一般の瓦の約2倍、裏面温度は約-10℃と、夏の日差し対策に貢献している。



屋根・壁とも構造用面材で覆ったうえで通気層を保ちつつ、屋根・壁・床を発泡ウレタン系断熱材で隙間なく充填し、高い断熱・気密性能で省エネに貢献する。太陽光発電と併せて、建物の燃費（PassiveHouseJapanの建物燃費ナビ基準）はおよそ2.3kWh/㎡、総一次エネルギー消費は約1.02GJ/棟・年を達成している。

また、西日本では施工例の少ない炭入りモルタルを蓄熱槽として利用した温水蓄熱暖房（熱源：ヒートポンプ）で、ほぼ全館暖房を導入しており、無垢材や珪藻土と相まって、快適でくつろげる空間となった。

計画段階から耐力壁線・偏心率・水平構面を意識したバランスの良い建物を目指すことで、耐震等級3を楽々クリアしており、結果として外観の安定感に付与しているものとする。

平面プランは、室内外を多くの回遊路が仕込んであり、通り土間・ガレージ・LDKやデッキ、階段など、生活動線が豊かになるよう、またハレとケがスムーズに切り替わるよう計画してある。

地元の職人たちの腕を持ち寄り、ガレージ入口の木製三枚引込戸や、内外の左官仕事、府中家具の職人、タイル職人など、既成品だけでは決して生まれない手仕事の温かみのある空間になった。



## CONTENTS

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 新年のご挨拶                | 3  |
| 地域活動団体 2016年の抱負       | 4  |
| 広島県ヘリテージ協議会を設立しました    | 8  |
| 作品紹介                  |    |
| 掲載作品の会員紹介             | 11 |
| 相原酒造株式会社「雨後の月」第2倉庫(呉) | 12 |
| 中庭のある小さな家(尾道)         | 13 |
| 高山寺指定文化財収蔵施設(福山)      | 14 |
| プロスベリ高屋(東広島)          | 15 |

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| ぶろじえくとニュース                           | 16 |
| CPD認定プログラム(1~2月の県内実施分)               | 16 |
| 「美味しいけんちく・3」                         | 17 |
| 地域だより                                |    |
| 福山 「石垣からみる福山城<br>～2022年築城400周年に向けて～」 | 18 |
| 広島 「国宝 姫路城見学会に参加して」                  | 19 |
| 賛助会員紹介                               | 20 |
| 広島建築設計コンペU-40 2015                   | 22 |

## 新年のご挨拶

# 多様な問題に挑戦し より良い社会づくりに貢献

(公社) 広島県建築士会 会長

元 廣 清 志



新年明けましておめでとうございます。(公社) 広島県建築士会へのご支援を心からお礼申し上げます。おかげ様で会の運営は順調に進んでおります。新しい年を迎え、本年もさらなるご協力をお願い申し上げます。

平成25年4月から広島県建築士会は公益社団法人となり、丸3年を経ようとしています。法人改革により会員への情報提供や研修、交流や親睦などの行事と活動から会員以外も含め、すべての建築士の自律的管理や建築士職能についての情報を開示する責務や、建築の創られ方やあり方について、専門領域から責任ある情報発信を行うなどの公益的活動にも力を置いてまいりました。

今日の社会環境全体は、高齢化の進行、少子化による社会構造の変化、都市型の社会の進行など、新たな社会構造に対応することを個人、地域社会、団体などあらゆる立場で、今後の対応に迫られているのが現実です。

建築士会では各自治体と連携するまちづくり活動のあり方について、防災／歴史(景観)／福祉まちづくりなど、連合会を通して部会等を設置、検討がなされています。昨年10月29日に開催の理事会でも、基本的方向が承されています。今後、まちづくり関係建築士等の人材養成、自治体のまちづくり活動に関する情報の収集、政策提言など自治体との連携に向けた活動、自治体とのまちづくり協力協定の締結、自治体業務の受託、まちづくり関係建築士に対する支援などの活動も期待されています。広島県建築士会もすでに取り組み中のところもありますが、国の進めるコンパクトシティへの考え方とも連携し、今後の社会のあり方とも連動して、これらの課題をこれからの豊かな社会づくりの為の大きな目標としていくことが求められています。

建築もスクラップアンドビルドから、建築を地域の資産と考え、今後はストック(今あるもの)を活用する取り組みが必要となりますし、長寿命型への対応も不可欠となります。そのため、空家対策、ヘリテージという世襲財産、文化遺産などへの対策が必要となってまいりました。環境への配慮も不可欠で、住宅の省エネルギー基

準も本年から本格化していきます。その対応も必要となります。

災害に対する取り組みも進めています。士業関係者による相談窓口開設の継続や自治体との相談に係る連携のための協定を結んだ例もあります。

空家対策についても今日的課題となっており、広島県では関係者と県において、空家対策チームによる対応も進められています。

昨年度は、木造住宅等地域材利用拡大事業を国の助成もあって、関係団体と共に進めて、その成果を上げています。建築士会連合会中四国ブロック事務局としての対応も必要な年でもありました。

各種講習会や建築士試験の受託に加えて、「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」「広島県木造住宅生産体制強化推進協議会」などの建築関連ネットワークの主幹事務局として活動。広島県で取り組む「魅力ある建築物の創造事業」に関する包括的協力、また広島県内の文化遺産の利活用に継続的に取り組むために、「ヘリテージマネージャー養成講座」を開設し、68名のマネージャーを輩出しました。県内各自治体にも、マネージャーの活用により、遺産、文化財の保存活用が図られる様に取り組んでまいりました。各自治体からのご相談にも応じ、多様な公益的活動に取り組んでいます。

また改正建築士法が施行され、新しい時代に向かってその意義を考え、日本建築士会連合会とも協力しながら、会員はもとより建築全体に正しくその意義が伝わっていくよう、公益法人としての役割を果たしていかなければと、思いを新たにした年でもありました。

本年は建築の資質保持のため、会員はもちろん未加入の建築士にも周知を図り、確立を進め、問題意識の共有に努めていきたいと考えています。また、今、私達建築に携わる者が社会変化の中で建築だけを取り上げることなく、県民と共に構成された社会の一員として、これからの多様な問題に真剣に挑戦し、社会貢献、地域貢献の活動に仲間が手を携えて活動し、より良い社会づくりに貢献できることを心から願っています。

何卒、引き続きよろしくご指導とご協力を賜りますようお願いし、本年が皆様にとって輝かしい年となりますことを念じて、年頭のご挨拶とします。



企画総務委員会委員長 林 康文

士会会員にとって地域活動団体は一番身近な存在です。会員数の減少や高齢会員の増加など共通の課題もありますが、設立年や会員規模が異なり、各々が地域ならではのユニークな活動を行っています。年齢や仕事も異なる建築士の仲間が集い、地域で種々の活動を継続的に行うことはとても大事なことです。

士会が設立されて60年余が経ちます。組織体制や事業内容が大きく変わり、時代の変化に対応した活動を模索することも必要です。平成25年4月の公益社団法人移行に伴い、従来の支部は地域活動団体として新たな活動を展開していますが、今後、建築士会が大きく成長していくためにも、地域団体は重要な役割を担っています。

2016年の年頭に当たり、各支部の活動について広報委員が紹介します。（文中の会員数は12月末現在のものです。）



## 吳地区 ..... 濱井 義樹

呉地区支部の会員数は、現在182名です。1952（昭27）年3月22日の呉地区支部発足当時の92名からは倍増となるものの、ピーク時の415名（1990年）から見れば、既に半分以上にまで減少しているというのが実情です。しかし、そうした会員数の多い時代の名残もあってか、呉地区支部は広島県内でも比較的事業の多い、活動の盛んな支部だと言われているようです。

中でも、1984（昭59）年にスタートし、昨年末に第32回を迎えた建築講演会「呉建築セミナー」は、業界内で、「呉に呼ばれば有名になる」との伝説もあるらしいというほどの看板事業として定着しています。

また、定例になっている耐震セミナー、省エネ・エコといった建築設備や最新技術の紹介などの技術講習会のほか、県内・県外の見学研修会など、定例事業も数多くあります。さらに近年では、商店街とのタイアップや地域を巻き込んだ防災活動など、まちづくり関連事業の規模や頻度が徐々に高まっており、これらが今後の活動の大きな柱になりそうな勢いもあります。

呉地区支部の場合、こうした事業の大きな推進力、と言うよりも実質的な活動主体となっているのが**女性委員会**と**青年委員会**です。ただし近年、特に若い方の入会はまれです。その分だけ余計に女性・青年会員の負担は大きく、苦勞も多いようです。

ともかく、会員数の減少が予算規模の縮小に直結し、またバブル期のような企業協賛金も期待できないという現状においては、会員数の増加とともに、いかに質を落とさず各種事業を効果的かつ効率的に進めていくかということが大きな課題です。

その一環、と言うほどのものではありませんが、私の担当である呉地区支部の会報誌は発行55年目にしてついに、背表紙のない「中綴じ」スタイルに変身しました。記事ボリュームをほぼ変えずにページ数を減らし、わずかながらでも経費削減とイメージチェンジを図ることができたのでは、と思っていますところですよ。

当然ながら、支部活動そのものについても、徐々にではありますが、次世代に対応できる形へと変身させていく必要があります。こちらは会報誌と違って、なかなか難しそうですね。ではありますが…。



広島 ..... 福馬 晶子

広島支部の会員数は、全体で940名という巨大支部です。

組織としては、委員会（総務企画委員会・広報委員会・技術研修委員会・まちづくり委員会・見学委員会・スポーツ委員会）と部会（青年部会・女性部会）から成り、それぞれ活動しています。

平成27年度の広島支部での大きな出来事としては、新たな公益事業として国際交流イベント「べあせろべ」の事務局を引き受けたことがあります。これは、建築士会の活動を国際的な空間で広く市民にアピールする取り組みで、今後も続けていくつもりです。今回は青い空の下、緑の芝生の中央公園の芝生広場で、林野庁木造住宅等地域活用拡大事業の同時開催により、巨大な木造迷路やダンボールのドームを作成し、木で作った車でレースをするイベントを行い、世界のまちのパネル展示も行いました。また、見学会では基町界隈の現代建築の案内を行い、福島の漁師が出す屋台で交流を行うなど、様々な取り組みを行い盛会でした。

最近のそれぞれの委員会・部会の活動としては、まちづくり委員会を含む多数の団体により組織を立ち上げ、都市木造への取り組みを進めるためイベント等の開催を始め、見学委員会では姫路城を三浦教授にご案内いただいて知識を深めました。青年部会では毎月定例会を開き、メンバーが順に自分の専門領域を紹介することで、新入会員の増強を行い、広報委員会ではHPに建築士会広島支部の会員や作品を掲載していくことにより、広島支部に所属する建築士の皆さんを宣伝するなど、地域貢献に、職能の広報に、活躍しています。これからも、色々な面で事業を進めていきたいと思いますので、皆さま、是非とも一緒に活動を楽しみましょう！



福山 ..... 藤井 太郎

福山支部の会員数は、現在289名です。

福山支部では、主にまちづくり活動を中心に活動しています。近年では、平成28年の福山市制100周年、福山城築城400年が近づいていることから、そこに向けて盛り上げていけるような講習会、講演会を数年前より企画してきました。そしてようやく昨年、「石見からみる福山城 2022年築城400周年にむけて…」を開催することができました。これからも魅力ある事業を企画していければと考えています。

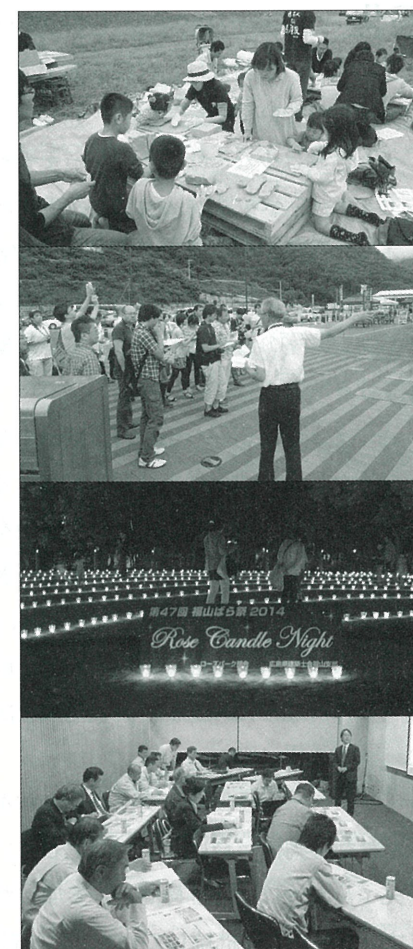
他には新技術等の講習会・見学会・支部会員交流会などを開催し、会員の技術の向上から交流まで、幅広く事業を行っています。

社会貢献活動では、年数回、市役所やいろいろなイベント等からの要請を受けて、住宅等無料相談を行い、一般の方々からの相談を受けています。

青年委員会では、建築士の育成(建築士試験対策講習会など)、まちづくり活動として地元イベント(福山ばら祭)などへの参画、また建築関係他団体の主に若手との交流を行うなどの活動を行っています。

福山支部では40歳で支部を卒業することになっているため、2年に1度、1泊2日の日程で青年部卒業研修旅行も行っています。ちなみに前回も、白川郷の合掌造りに宿泊しました。

女性委員会では、一般の方々や会員を対象にした事業を年間4事業開催しており、その全てが継続事業です。その中でも「建築なんでも探建隊」は、女性委員会発足時から続いており、今年度で18回目となります。女性建築士らしい視点の事業を、地道に継続しています。





## 東広島 ..... 高尾 康明

東広島支部の会員数は現在134名で、公益法人移行前から約10名減少しています。会員の減少は、高齢化や人口減少と同じく自然の流れかと思います。会員数減少への対策は新規募集も必要ですが、何よりも大切なことは、会員の皆様により魅力的な事業活動を行うことではないでしょうか。

当支部では、次の各委員会を設置して活動しています。**総務企画委員会**は、毎月常任幹事会を開催し、各委員会の活動計画の承認や実施状況の確認を行っています。**編集委員会**は、東広島支部報「居蔵」を創刊以来、毎年発行し、会員の建築作品、年間の事業報告、行政情報、会員だより、会員名簿等を掲載しており、今年で第25号を迎えます。青年・女性委員会は、恒例の西条「酒まつり」への手形漆喰づくりのチャリティとしての出店や、本部と連携したウォークラリー、行政機関主催の防災訓練への参加などを行っています。今年は「建築士の日」の記念事業として、『景観から見える問題を解決に向けて本気で考えるシンポジウム』を初めて開催し、多くの参加者で盛り上がりました。**まちづくり委員会**は、伝統的町並み等の視察研修会を実施しています。**技術・研修委員会**は、文化財等の建築物の視察研修会や新築や改修工事現場での技術研修会を公益事業として開催しています。また一般市民と共に建築に関する身近なテーマを研修課題に、年2回「**建研塾**」を開設しています。**スポーツ委員会**は、本部主催のスポーツ大会への出場者選考・サポート、スポーツによる会員の交流を図っています。

今後の東広島支部の方針としては、公益法人として地域社会発展のため、建築士の技術や知識を生かし、市民団体との共催事業の実施や災害時の建物被害調査など、地元自治体との協力を進めていきたいと考えています。



## 県北 ..... 小又 正文

県北支部の会員数は、現在92名です。少ない人数で活動をしているのですが、会員一同で頑張っています。

年々活動は少なくなっていますが、今までの活動としては**住宅長寿命化リフォームセミナー**、**学校訪問活動**（今の建物と昔の建物の違い・進化／建物が出来るまで／大工さんの道具を触ってみよう等）、**雪室解体・処分と効果の検証**（邪魔者から宝物／ブチ雪室製作その後）、**完成建物見学会**などがあります。今年は**公共施設維持ボランティア活動**や**雪室の再検証**、**小中学生を対象に建築に興味を持ってもらえるための出前講座**等を行う準備をしています。

特に平成24年度から始めた公共工事維持保全ボランティア活動は、建築士としての技能を生かして地域貢献を積極的に進めることを目的に、支部活動の一環として、地域の修繕やメンテナンスの必要な公共施設を、施設の利用者と我々とでチェックをしながら使用方法の不適切などを学んでいきます。正しい使用方法や不具合の兆候を知っていれば、メンテナンス費用も抑えられ、建物の長寿命化に繋がると考えられます。県北支部は三次・庄原・安芸高田の3市の会員で構成されており、毎年各地区持ち廻りで、1月～2月に行っています。今年度は三次市内の集会所、コミュニティーセンターなどを修繕する予定です。

ボランティア活動で建築士会の存在をアピールでき、活動を通じて仲間意識も強くなり、お互い刺激し合いながら向上していけるところもメリットであると感じます。保全が完了した後はとても喜ばれ、参加した人たちはやりがいを感じ、充実した活動となります。これからも継続していきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。



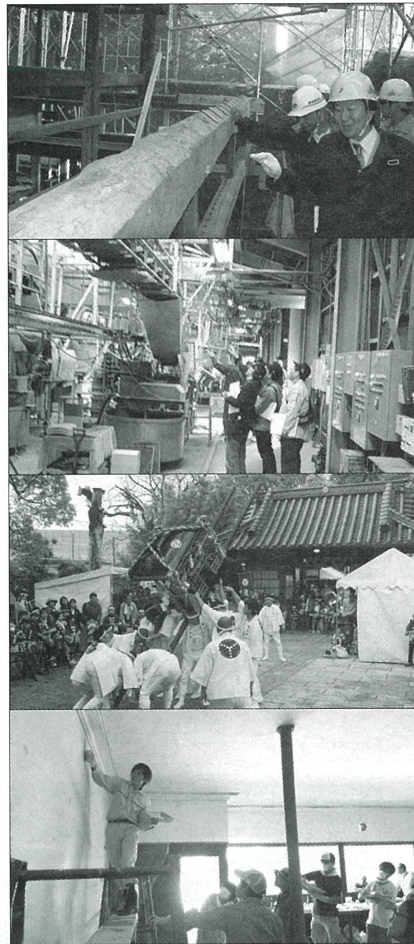
## 三原 ..... 三原 支部の会員は現在103名です。

支部の特徴的な活動としては、三原市歴史的建造物調査研究会との共催で**古建築の調査・勉強会・研修視察**を開催しています。平成26年には長年の結果をまとめて、「**三原城下町の寺社建築**」を発行しました。三原支部の会員でもある三浦正幸先生の見学会はとても好評で、楽しそうに説明をされる姿にいつも引き込まれてしまいます。

また、年に数回、**県内・県外見学会**を開催。今年は9月に広島・呉方面施設見学会（マツダスタジアム・江田島町の旧海軍兵学校）を、11月には一般の方々と山陰方面施設見学研修会（石州瓦製造過程と石見銀山視察）を開催し、建築士としての知見を深めると同時に、会員・一般の方との交流を図っています。

一 **青年部**では、地域実践活動の一環として、まず『建築士』である前に『人』として、自分自身や周りの方々に幸せにすることを模索しながら活動を行っております。具体例としては、「久井稲荷神社」の「はだか祭り」や「瀧宮神社」の神輿青年団への参加。平成25年に島根県で起こった豪雨災害や平成26年に広島市で起こった土砂災害の復旧ボランティア活動等への参加が挙げられます。これらの活動で得られた経験やつながりを糧に、『建築に携わるもの』として、地域の方々の幸せにつながる活動へと展開しています。具体例としては、神社への神輿改修調査団の派遣、古民家再生プロジェクト（本町山脇邸）への講師派遣、地域町内会への防災アドバイザー等としての参加などが挙げられます。（西山貴志）

これからも、建築士としての知識向上や会員相互の交流を深めるための活動を続けていきたいと思っています。



## 尾道 ..... 米田 雅治

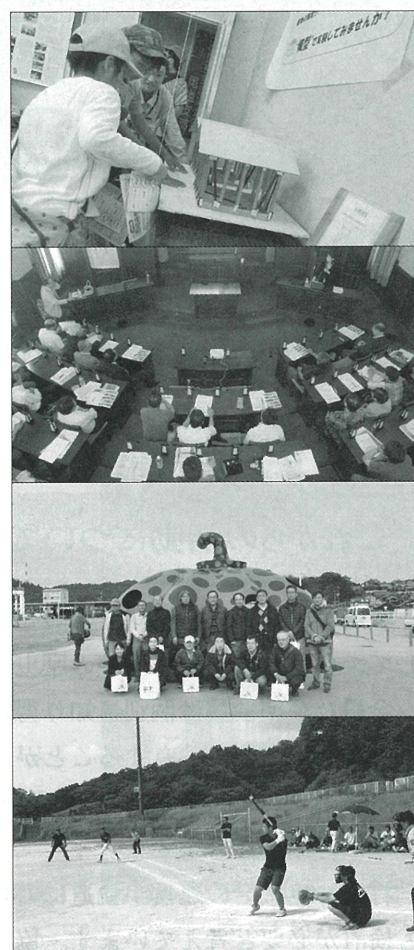
尾道支部の会員数は144名で、人口約138,000人の尾道市全域が支部区域です。小さな古い地方都市のため、人の出入りは比較的少なく、会員の多くは県東部の工業高校、県内大学出身の先輩・後輩でつながっており、小さいながらも密な関係を保っています。

戦災を免れた尾道には古い木造住宅がたくさんあります。そのため尾道市では**木造住宅耐震診断補助事業**を行っており、その支援活動を尾道支部で行っています。昨年度は相談件数14件、申込受付が8件ありました。また、尾道市との共催で行われている「福祉まつり」では、「住まいに関する何でも相談会（住宅相談会）」を毎年実施しています。相談会では、青年部が作成した耐震模型を展示して、筋交いがある模型と無い模型とを自分で揺らせてもらい、筋交いの重要性を視覚的に体験してもらうなど、来場者への耐震診断、耐震改修補助制度の啓発活動を行っています。

さらに、支部会員の木造に関する知識向上のため、毎年、**木造関係の講習会・講演会**を主催しています。昨年は広島県の県産材利用促進方針を受けて、「**広島県産横架スパン説明会**」を広島工大の岩井先生に講義してもらいました。

また、会員相互の交流と建築知識の向上のため、**建築視察見学会**も開催しています。昨年は青年部の企画で直島に行きました。内外の優れたアートデザインや、自然や既存の建物を活かした作品などを通じて、「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトを体験し、尾道での建築活動のヒントになる見学会でした。青年部が、今年のまちづくりフォーラムにて報告する予定です。

また、青年部実行委員会は、仕事上付き合いのある市内の建材・建築業者さんとの交流目的で、ソフトボール大会を毎年開催。昨年は39回目で、12チームが参加しました。





## 広島県ヘリテージ協議会を設立しました

ヘリテージ委員会委員長 山口 邦良

ヘリテージとは、遺産、継承物又は伝統、伝承という意味を持っています。私たちが住む地域には、文化的価値がある多くの埋もれた歴史的文化遺産があり、それらが老朽化などで失われようとしています。これらの地域に埋もれている歴史的建造物を発見し、その価値を判断して、保全・改修・活用方を提言・提案し、まちづくりに生かすことのできる専門家の育成が急務と考えて、平成25年度から、ヘリテージマネージャー養成講習会を実施しました。その結果、昨年度までに県内に68名のヘリテージマネージャーが誕生し、今年度末には100名余になる予定です。



ヘリテージマネージャー養成講習会

## 広島県ヘリテージ協議会設立総会



設立総会

ヘリテージマネージャーの登録情報は建築士会のHPで公表しており、県内の市町及び県民の皆さんから建造物の調査・活用などの相談が多く寄せられています。これらの要請に対応することや、今後、自治体や関係団体等と連携を図り、県内の貴重な歴史的建造物の発見・保存・活用に取り組んでいくことが必要です。そこで、これまでの講習修了者及び参加希望者により、県内各地域のヘリテージマネージャーを中心とした活動組織を立上げることとし、12月3日に「広島県ヘリテージ協議会」設立総会を45名の参加で開催いたしました。協議会は建築士会とは別組織とし、会員倫理規定、協議会規約、役員等について決議をしていただき、協議会を発足することができました。

## これからの活動について

広島県ヘリテージ協議会の設立により、会員及び準会員は規約に定める目的を達成するため、あらゆる機会を利用して、会員が協力して地域の歴史・文化を守り、良好な景観の形成など、地域社会に貢献するよう努めていきます。

会員及び準会員は個別に知り得た情報や技術などについて地域部会に報告し、必要事項を協議会に報告することにより、会員同士で共有することができます。また、調査活動等へ参加することにより、歴史的建造物の調査・修復・活用等について、技術力の向上・研鑽を図ることができ、修復した歴史的建造物の活用を促し、地域の活性化を図ることが可能となります。

将来、協議会の運営が軌道にのり、組織として自立することが可能となれば、NPO等の法人として組織することも検討が必要と考えています。協議会の活動に賛同され、共に活動を希望される皆さんの参加をお願いします。

## 広島県ヘリテージ協議会の活動状況を紹介します

### I 湯ノ山明神旧湯治場保存修理事業（重要民俗文化財-1974.2指定）

江戸時代に広島藩が「湯ノ山明神」と湯屋を建造し、藩主浅野家の湯治場として愛用した。その後、庶民に開放し、大繁盛したと言われている。

- 士会で依頼を受け、H25年度に調査・修復設計、H26年度からヘリテージマネージャーが加わり、設計及び工事監理を広島地域のヘリテージマネージャーにより共同企業体を構成し実施している。今年度は湯屋のコケラ葺替え、来年度以降で拝殿、本殿の修復を行う。



「湯ノ山明神」の湯屋

### II 福山藩「防地番所」の保存

番所は19世紀初めのころ建築されたものと思われ、170～200年を経過している建物と思われる。全国的に見ても建物が残っているものは3カ所であり、原位置に保存されていることは歴史的価値も高く、街道沿いの遺構としては存在意義が大きく、現状保存が望ましい。

- H27.1.21に現地調査し、今年度中に尾道市の重要文化財登録申請をする予定。尾道地域のヘリテージマネージャーが中心となり取り組みを行う。



防地番所

### III 「近代和風建築総合調査」について県教育委員会文化課より協力依頼

- 基礎調査で1,000件程度リストアップし、最終的に100件程度に絞り込む。
- 今年度は教育委員会が基礎調査を実施、調査依頼は来っていない。
- 建築士会では、リストアップされた建物の調査を実施することになる。

### IV 「多門亭」尾道市における登録有形文化財申請に係る業務依頼

- 1920年（大正9年）の建築、総2階建てで料亭・土産物店として使用されていた。平成22年から空き家となっていたものを、士会尾道支部が中心となり活用できるように修復した。
- 尾道市から国の登録有形文化財として申請してほしいとの依頼があり、尾道地域のヘリテージマネージャーで対応することになっている。



多門亭

### V 「向酒店」尾道市における登録有形文化財申請に係る業務依頼

- 所有者の要望を受け、市から建築士会に国の登録有形文化財申請について協力依頼があった。早速、尾道地域のヘリテージマネージャーを中心に対応することを検討している。
- 資料などが無いので、図面作成の調査から始める必要がある。



向酒店

### VI 「ヤマモトロックマシン」（旧山本鉄工所）工場・旧自治寮 庄原市東城町 国登録有形文化財登録申請に係る図面・所見調査作成協力

- 日本の削岩機製造の2大メーカーの1つである工場と、旧自治寮建物群8棟を、数年前より建築士会有志が関わり、県内では初めての事例として、広島県ヘリテージマネージャーが登録申請の図面・所見調査作成に携わった建物である。昭和初期建築で現役の工場建物としては、官営工場以外では他に類を見ない大規模な木造建築の建物群である。一度の登録申請で単独の建物8棟での登録も例を見ない。
- 昨年6月に申請をし、11月20日、国の文化審議会の答申を受け、テレビ・新聞等のマスコミで報道された。



ヤマモトロックマシン



# 安全で安心な住まいづくりを 私たちがサポートします！



(公社)広島県建築士会と(一社)広島県建築士事務所協会会員をはじめ、  
銀行、電力会社、弁護士、会計事務所など、  
多くの方々のご賛同をいただき設立した会社です。

## 皆様の温かいご支援をお願い致します。

### 業務内容

- 建築確認・検査 ●住宅性能評価 ●フラット35 ●長期優良住宅
- 低炭素建築物 ●住宅性能証明書等の発行 ●リフォーム評価ナビ ●住宅省エネラベル
- 住宅かし担保責任保険 ●すまい給付金の受付

(まもりすまい保険・あんしん住宅瑕疵保険・JIOわが家の保険・ハウスジューメン住宅かし保険・ハウスプラスすまい保険)

#### (株)広島建築住宅センター 本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10  
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231  
E-mail info@hkjc.co.jp

#### 福山営業所

〒720-0034 福山市若松町8-22  
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974  
E-mail fukuyama@hkjc.co.jp

ホームページ <http://www.hkjc.co.jp>

## 作品紹介 掲載作品の会員紹介

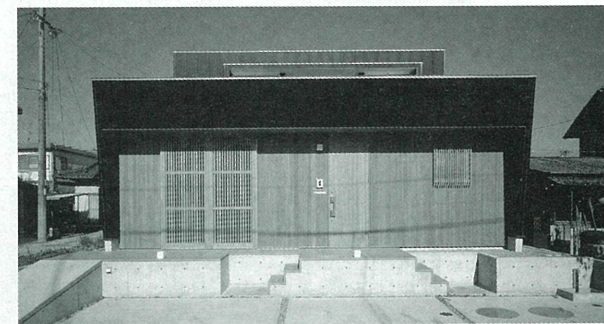


相原酒造(株)「雨後の月」第2倉庫 呉地域

岩本 秀三

住宅・共同住宅・茶室・病院・福祉施設・学校・工場・商業施設を  
はじめとする新築工事・増改築工事・リフォーム工事など建築全  
般について「設計・監理」を専門業務とする建築設計事務所です。

岩本秀三建築設計事務所  
〒737-0051  
呉市中央5-12-28-502 1-FLAT  
TEL 0823-25-6633  
FAX 0823-24-7779  
URL <http://www.iwa-architect.jp/>  
E-mail info2@iwa-architect.jp



中庭のある小さな家 尾道地域

濱田 昌範

尾道を中心に備後地方を主な活動範囲とし、主に個人住宅の設計・  
監理をしております。昨年は広島県建築士会で初めて住宅作品で建  
築士会連合会賞優秀賞を受賞しました。今後も建築を通して地域の  
建築文化に貢献したいと願っております。

(株)濱田昌範建築設計事務所  
〒722-0052  
尾道市山波町570-9  
TEL 0848-20-7312  
FAX 0848-20-7313  
URL <http://www.mh-architect.com>  
E-mail hamada@mh-architect.com



高山寺指定文化財収蔵施設 福山地域

北川 丈晴

1980年に岡山県笠岡市で開設し、主に岡山県西部、広島県東部  
で、事務所、学校、福祉施設、住宅等を手掛けさせて頂きました。  
現在、一級建築士6名(うち構造一級1名)で、福山市、岡山市に  
支店があります。長く親しまれる建物を目指しています。

(株)塩飽設計 福山事務所  
〒721-0921  
福山市大門町3310  
TEL 084-982-8914  
FAX 084-982-8828  
E-mail shiwaku-fk01@ceres.ocn.ne.jp



プロスペリ高屋 東広島地域

石竹 常良

1978年、東広島にて設計事務所開設。意匠中心の事務所ですが、  
20年前より不動産業も兼業しました。業とすることにより、土地  
建物の総合面よりの確かな企画、提案ができるよう心掛けています。  
時代の変化に対応し、地域貢献できる事務所を目指しています。

(株)イシタケ  
〒739-0025  
東広島市西条中央6丁目4番2号  
TEL 082-422-0002  
FAX 082-422-5011  
URL <http://www.ishitake-archi.com/>  
E-mail open@ishitake.jp



# 相原酒造株式会社「雨後の月」第2倉庫

呉地域



前面道路より見る



搬入路奥より見返し



東面正面



置屋根下部詳細

この建物は、仁方の酒として現在多くの人に知られている「雨後の月」の為に冷蔵倉庫です。敷地は、この地域が迎ってきた時代を引き継ぐかの如く、狭小な道路が網の目のように張り巡らされた一面にあり、東西に延びた前面道路はかつての幹線道路を思わせます。建築主との打ち合わせを通して大切にしたい事は、確かに主目的は倉庫を建てることなのですが、それは単なる倉庫として建てるのではなく、「表情のある建築」とすることで地域に溶け込みつつ、目的的な存在として地域の活性化につながれば、という想いを込めた建築にしようということでした。

設計監理／(株)岩本秀三建築設計事務所  
構造設計／栄建構造設計 津村栄一  
施工／正田建設(株)  
所在地／呉市仁方西神町  
構造規模／鉄骨造 平屋建  
延床面積／308.35㎡  
竣工／2015年10月

# 中庭のある小さな家

尾道地域



設計監理／(株)濱田昌範建築設計事務所  
施工／ホーム(株)  
所在地／尾道市向島町  
用途／専用住宅  
構造規模／木造 2階建  
延床面積／96.88㎡  
竣工／2013年11月

マンション住まいから戸建て住宅への住み替え希望の依頼です。地面とのつながりを大切に、1階に主寝室を設け、平屋的な生活を可能にしながら、小さいけれど中庭を造りました。延床わずか29坪とは思えない広がりのある小住宅ができました。





## 高山寺指定文化財収蔵施設

福山地域



高山寺指定文化財収蔵施設  
落慶 平成26年11月16日

設計監理／(株)塩飽設計  
施 工／(株)志多木組  
所 在 地／岡山県井原市  
用 途／文化財収蔵施設  
構造規模／RC 平屋建  
延床面積／34㎡  
竣 工／2013年3月

岡山県井原市に建つ高山寺の収蔵庫である。本寺は、天平3年(731年)、行基菩薩により開基された、真言宗別格本山であり、国指定重要文化財の「木造不動明王坐像《嘉吉2年(1442年)作》」「木造地藏菩薩立像《宝永4年(1707年)ごろ作》」をはじめとして、数点の岡山県、井原市指定の文化財を所有している。それらの文化財の保存を目的とした施設である。

建設に際し、由緒ある境内にふさわしい外観とすること、また収蔵庫としての機能を満たすことを特に配慮した。この施設により、貴重な文化財が安全に、次世代に受け継がれていくことを祈っている。



## プロスペリ高屋

東広島地域



3階 ワンルーム

設計監理／(株)イシタケ 石竹常良  
施 工／(株)大京穴吹建設  
所 在 地／東広島市高屋町  
用 途／貸店舗・共同住宅  
構造規模／鉄筋コンクリート造 3階建  
延床面積／337.46㎡  
竣 工／2015年6月



1・2階 貸店舗

JR西高屋駅前の県道拡幅に伴う用地買収により、狭小、変形土地が残りました。しかし、駅前の好立地を生かし、用途は1・2階を貸し店舗、3階にワンルームを企画しました。平面計画は貸室面積をできるだけ広くするため、共用部分の面積を最小限としました。



仮称)まちづくりゼミナール

## 「これからの林業と木づかいの耳寄りな話」

広島支部まちづくり委員会

日時：平成28年1月24日(日)

13時30分～16時30分

場所：合人社ウエンディひと・まちプラザ

北館6階 マルチメディアスタジオ

講師：古川ちいきの総合研究所 古川大輔氏

\*詳しい内容は広島支部HPに掲載しています。

平成27年度 けんちくセミナー

## 「外国人観光客にゆだねる建築」

呉地区支部

現在、日本では外国人観光客が増加し、2020年の東京オリンピック開催もあって、建築界はその対応が求められています。実は、1930年代も外国人観光客が増加する中、オリンピック開催(1940年)に向けて建築に変化が求められました。本講演では、火災をテーマに、当時のホテル・ダンスホールなど、外国人観光客向けの建築対応の歴史について紹介します。

日時：平成28年1月27日(水)

場所：広島国際大学呉キャンパス 1号館

講師：広島国際大学工学部住環境デザイン学部

砂本文彦准教授

受講料：無料 定員：30名

問い合わせ先：事務局0823-25-0230

## 第18回 建築なんでも探建隊

福山支部女性部会

日時：平成28年2月14日(日)

13時30分～16時30分(13時～受付)

場所：福山市市民参画センター 4階会議室2

テーマ：塗ってみよう珪藻土!

～オリジナルプレートをつくろう～

募集対象：小学生 定員予定20名



平成27年度

## 「第5回 建築士が関わる

## もの・まち・くらしづくりフォーラム」

社会活動委員会(地域貢献活動センター部会

まちづくり部会、青年部会、女性部会)

日時：平成28年2月21日(日)

場所：広島県情報プラザ 多目的ホール

\*詳しい内容は、1月号に同封したリーフレットをご覧ください。

## 美味しいけんちく

3

### 生産者とのご縁が生み出す

### 美味しいおばんざいの店「こめどこ食堂」



JR尾道駅から海岸通りを東に徒歩2～3分、2014年9月18日オープン「こめどこ食堂」は、地元食材にこだわったおばんざいの定食ランチが食べられるお店です。

地元の生産者との「ご縁」を大切に、安全安心な食材にこだわり、お米もスタッフ自らが農薬を使用せず、アヒル農法で栽培し、その日に精米したものを使用(期間限定・なくなり次第に御調「がんばう米」へ変更)。精米で出る米ぬかも、自家製のぬか漬けに使用するなど、食材を無駄にしないロハスなレストランです。お昼から日本酒やワインも楽しめます。



お店は古い木造店舗住宅を改装し、2階の小屋裏の古い梁をそのまま見せ、古民家から持ってきた欄間を使用するなど、懐かしく落ち着いた感じに再生されています。

好きなけんちくの中で、美味しいものを頂くーこんなに楽しいことはありませんね。このコーナーでは、3回シリーズでミニ情報をお伝えします。是非、足を運んで下さい。

広報委員 米田 雅治

食事のできる2階の南側は、尾道水道を一望できる素晴らしいロケーションです。1階の「YAMANEKOMILL」では挽きたての珈琲や地元産のフルーツジュースがテイクアウトできます。

お店の近辺は駅前再開発できれいになりましたが、尾道らしい雰囲気が失われました。隣にあった「海山荘」という旅館は、道路拡張に引っ掛かり、今は駐車場になっています。残っていれば有形文化財だっただろうに、残念でなりません。しかし、「こめどこ食堂」は建物の外形をほぼ残し、尾道の街並み保存に寄与しています。

近年、急速なグローバル化と激しい自由競争で地方都市は疲弊しています。巨大な資本力を持つ都会や海外の企業が、徹底した効率化と大量生産で小売業、外食産業まで独占しつつあります。造船業の好調な尾道



にあっても、商店街やかつての繁華街には閉じたお店が増えています。

そんな中で「こめどこ食堂」は、地元の若い人たちが古い建物を改修し、地元の食材を使い、地域と共に尾道の良さをアピールしているお店です。戦災を免れた古い街並みが残る尾道の雰囲気を、懐かしんだり珍しがったりして訪れる観光客は、こんなお店に癒しを求めてやって来るのかもしれません。このようなお店は尾道のみならず、地方都市には必要不可欠なお店であるように感じます。

#### ●こめどこ食堂

所在地：尾道市東御所町5-2

TEL 0848-36-5333

営業時間：11:00～13:30(ラストオーダー)

18:00～22:30(ラストオーダー)

定休日：月曜日



## CPD認定プログラム(1～2月の広島県内実施分)

2015年12月15日現在

| 日時   | プログラム名                          | 単位 | 主催           | 連絡先          |
|------|---------------------------------|----|--------------|--------------|
| 1/19 | モバイル、クラウド徹底活用!現場のコミュニケーションと情報共有 | 6  | インターウェーブ     | 099-812-0677 |
| 1/20 | 一級/二級/木造建築士定期講習(6D-05)          | 6  | 広島県建築士会      | 082-244-6830 |
| 1/20 | 現場代理人養成講座(A-午前コース)              | 3  | 建設情報化協議会     | 03-5294-6200 |
| 1/20 | 現場代理人養成講座(B-午後コース)              | 3  | 建設情報化協議会     | 03-5294-6200 |
| 1/20 | 現場代理人養成講座(C-終日コース)              | 6  | 建設情報化協議会     | 03-5294-6200 |
| 1/26 | 監理技術者講習                         | 6  | 広島県建築士会      | 082-244-6830 |
| 1/27 | けんちくセミナー「外国人観光客にゆだねる建築」         | 2  | 広島県建築士会呉地区支部 | 0823-25-0230 |
| 1/28 | 監理技術者講習                         | 6  | 広島県建築士会      | 082-244-6830 |
| 1/30 | セミナー「照明計画に関する基礎知識と事例紹介」(広島)     | 2  | 日本設備設計事務所協会  | 082-545-1820 |
| 2/2  | リスクアセスメントの実践例と効果的な安全衛生対策        | 6  | インターウェーブ     | 099-812-0677 |
| 2/17 | 一級/二級/木造建築士定期講習(6D-06)          | 6  | 広島県建築士会      | 082-244-6830 |
| 2/18 | 現場代理人の建設マネジメントスキルと優良工事表彰獲得      | 6  | インターウェーブ     | 099-812-0677 |



地域だより  
福山

# 「石垣からみる福山城 ～2022年 築城400周年に向けて～」

福山支部 社会活動委員会まちづくり担当 奥家 彰一



広島大学 三浦教授

「古典の日」である昨年11月1日、広島大学大学院文学研究科の三浦正幸教授による講演会が、福山城を望める「エフピコRiM」9階スカイホールにて行われました。この会は建築士会会員のみならず、一般の方も対象

としたもので、合計172名のご参加をいただきました。福山城に関する講演と福山城の現地散策で、3時間半にわたる長時間の内容でしたが、参加された皆様は最後まで熱心に質問をされるなど、とても活気ある講演会となりました。

三浦教授は、石垣についての講演依頼を受けたのは初めてということでしたが、第1部の講演では、教授が作成されたパースやスケッチを基に、空襲で消失する前の福山城全体の姿や、石垣の種類、積み方について詳しく話を聞くことができました。



第1部 講演 エフピコRiM 9F スカイホール

第2部は福山城に場所を移し、実物を見ながら解説をしていただき、歴史と建物と石垣の話を組み合わせた非常に興味深い話を聞くことができました。第1部で使ったパースを実物と見比べることで、現在はなくなっている本丸や櫓を、より鮮明にイメージすることができました。一般の方の福山城への関心は非常に高く、この講演を聴いたことで、自分の町の自慢できる所が増えたのではないかと思います。これを機に地域への関心がより一層高まり、地域と共に魅力あるまちづくりをしたいと、改めて感じた1日でした。

福山城は2022年に築城から400年の節目を迎えます。多くの方にこの節目を祝っていただけるよう、建築士会では福山城に関する事業を計画していく予定です。

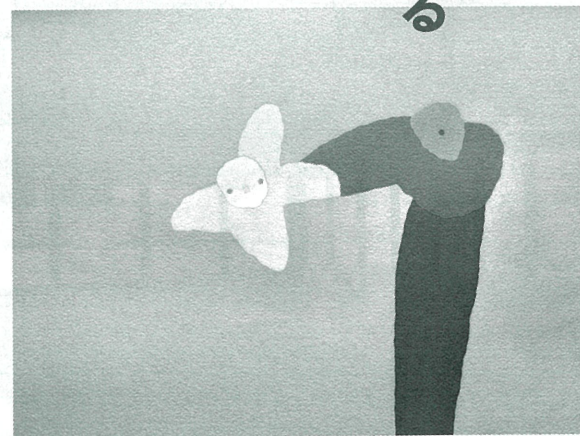
最後に、この講演会を開催するに当たり、ご協力いただいた三浦教授や、地域の皆様、福山城ボランティアガイドの皆様、会員の皆様、ありがとうございました。



第2部 福山城散策

竹中工務店

守る、  
創る、  
思いやる、  
ビルへ。



災害から人々の暮らしを守る。  
エネルギーを創り、分けあう。  
都市を、そして地球を思いやる。  
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに 未来へつなぐ  
TAKENAKA

地域だより  
広島

# 国宝 姫路城見学会に参加して

広島支部 柴田 直美

昨年11月8日に見学委員会主催の姫路城見学会に参加しました。広島駅集合時の天候はあいにくの雨。「傘をさしての見学になるかな？」と心配しましたが、東へ向かうと次第に小雨に。昼前に到着した姫路の空は、幸い、曇りでした。

この見学会の一番の魅力は、現在、古建築の研究では日本を代表する三浦正幸教授（広島大学大学院）が講師として同行してくださったことです。往きのバスでは、三浦教授が用意された姫路城の資料（図面）が配られ、車中前半（広島→福山まで）はお城を囲む石垣や門の話、サービスエリアでの休憩をはさみ、後半（福山→姫路）は本丸の話をたっぷり聞くことができました。

姫路城内は、「菱の門」「いの門」「ろの門」「はの門」「の門」「ほの門」をくぐり、本丸へ向かいました。門が多いのは、「敵の侵入を防ぐため」ですが、それらの門も一律ではなく、重要かどうかの位置付けがされているのです。その見分け方としては、板の張り方、門（かんぬき）を掛ける方向などで判断できるそうで、具体的には、タテ格子に横板張り、門は左から右に送る方向に付いている門が特に重要だと解説して頂きました。

本丸に着くと地下から入城し、内部を見学しました。「中央に2本の心柱」「柱を割るように、両側に配置された窓」など、バスで習ったことを確かめるように見学していくので、すべてにおいて「なるほど!!」と感じられ、にわか“お城博士”になった気分を味わいました。

私が特に興味深いと感じたのは、「狭間（※1）」や「石落（※2）」など、戦国ならではの造作が城内のいたるところに見られること。また、地下の台所にある「だだっ広い流し」は、数カ月以上の籠城を想定しての大きさであったそうです。「敵を防ぎ、城を守ること」



に、当時の人たちがいかに腐心したのか、その意思みたいなものは、数百年たった今でも伝わってくると思いました。（もちろん、各ポイントで三浦教授の名解説があつての感想ですが。）

さらに、遠目には白く美しく静かな佇まいの姫路城なのに、その内側には、敵を迎え討つための仕掛けがいたるところに散りばめられている。その対比も面白いと思いました。

次回も三浦教授の解説付きで、皆さんとご一緒に城郭見学ツアーに参加したいと思います。

※1—鉄砲を撃つための小窓

※2—石垣を登って侵入しようとする敵を攻撃するための、床を突き出すように作られた細長い開口部

「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに  
より確かなサービスを提供します

- |                   |                             |                 |
|-------------------|-----------------------------|-----------------|
| ■ 指定確認検査機関        | ■ 登録住宅性能評価機関                | ■ 指定構造計算適合性判定機関 |
| ■ 登録建築物調査機関       | ■ 適合証明業務（フラット35）            | ■ 長期優良住宅認定審査業務  |
| ■ 住宅瑕疵担保責任保険業務    | ■ 調査診断業務（耐震診断等）             | ■ 耐震診断判定業務      |
| ■ 住宅省エネラベル適合性評価業務 | ■ 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務 | ■ すまい給付金関連業務    |



株式会社 ジエイ・イー・サポート

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-8-6F  
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201  
支店: 東京  
e-mail: [mail@jesupport.jp](mailto:mail@jesupport.jp)



## 賛助会員を紹介します

## 江田島市都市整備課

市長 田中 達美

〒737-2392 江田島市能美町中町  
4859-9  
☎0823-40-2773  
http://www.city.etajima.hiroshima.jp

## 大之木建設(株)

取締役社長 大之木 雄次郎

〒737-8502 呉市中央  
3-12-4  
☎0823-26-1523  
http://www.onoki.co.jp

## (有)キヨウヤマ

代表取締役 京山 福成

〒733-0012 広島市西区中広町  
2-14-21  
☎082-532-3067  
http://kiyouyama.digi2.jp/

## (株)KI works

代表取締役 井手口 耕三

〒733-0815 広島市西区己斐上  
2-69-16  
☎082-881-1321  
http://kiworks.info/

## 坂町役場

建設部産業建設課

町長 吉田 隆行

〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜  
1-1-1  
☎082-820-1510  
http://www.town.saka.hiroshima.jp

## (株)ジェイ・イー・サポート

代表取締役 佐東 政明

〒730-0013 広島市中区八丁堀  
15-8-6F  
☎082-836-3300  
http://www.jesupport.jp

## (有)ジブ建築設計工舎

代表取締役 多森 治義

〒734-0052 広島市中区千田町  
3-13-11  
☎082-545-8251  
http://www.jib-art.co.jp

## (株)新広島設計

代表取締役 錦織 亮雄

〒730-0042 広島市中区国泰寺町  
1-8-30  
☎082-243-2751  
http://www.shinhiro-sekkei.co.jp

## (株)杉田三郎建築設計事務所

代表取締役 杉田 輝征

〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-5  
☎082-228-2345  
http://www.saburosugita.com/

## 日建学院広島校

(株)セイブコーポレーション

代表取締役 仲西 毅

〒730-0016 広島市中区幟町14-11  
ウィング八丁堀ビル 8F  
☎082-511-5515

## 総合資格学院

広島支店

学院長 岸 隆司

〒730-0037 広島市中区中町7-35  
和光中町ビル 4F  
☎082-542-3811  
http://www.shikaku.co.jp

## 大成建設(株)

中国支店

執行役員支店長 木村 普

〒730-0041 広島市中区小町  
2-37  
☎082-242-5301  
http://www.taisei.co.jp

## 中国電力(株)

管財部門(建築)

部長 原 弘明

〒730-8701 広島市中区小町4-33  
☎082-544-2519  
http://www.energia.co.jp

## (株)中電工

広島統括支社

取締役支社長 熊崎 村夫

〒734-0007 広島市南区皆実町  
1-9-35  
☎082-256-0719  
http://www.chudenko.co.jp

## (株)ティーエス・ハマト

代表取締役 濱本 利寿

〒731-0135 広島市安佐南区長束  
4-16-2  
☎082-238-1511  
http://www.ts-h.co.jp

## TOTO(株)

中国支社

支社長 岩崎 亨

〒734-0014 広島市南区宇品西  
4-1-36  
☎082-505-1029  
http://www.toto.co.jp/

## 東リ(株)

広島営業所

所長 川田 勝

〒733-0002 広島市西区楠木町  
3-16-12  
☎082-239-2858  
http://www.toli.co.jp

## (株)長崎塗装店

代表取締役 長崎 邦彦

〒733-0036 広島市西区観音新町  
1-7-24  
☎082-233-5600  
http://www.nagasakitoso.co.jp

## (株)長沼電業社

代表取締役 長沼 毅

〒730-0036 広島市中区袋町6-14  
☎082-248-2501  
http://www.naganuma.co.jp

## (株)日経ビーピー

代表取締役 長田 公平

〒108-8646 東京都港区白金1-17-3  
☎03-6811-8000  
http://kenplatz.nikkeibp.co.jp

## 日本ERI(株)

広島支店

支店長 倉橋 陽介

〒730-0013 広島市中区八丁堀  
14-4-3F  
☎082-211-5500  
http://www.j-eri.co.jp

## 日本住宅パネル工業(協)

西日本支所広島営業所

営業所長 棧敷 重和

〒733-0841 広島市西区井口明神  
1-14-43  
☎082-270-3700  
http://www.panekyo.or.jp

## ハウスプラス中国住宅保証(株)

代表取締役社長 宮崎 弘起

〒730-0042 広島市中区国泰寺町  
1-3-32  
☎082-545-5607  
http://www.jutakuhosho.com

## 広島ガス(株)

家庭用エネルギー営業部

執行役員部長 小原 健太郎

〒734-8555 広島市南区皆実町  
2-7-1  
☎082-251-2151  
http://www.hiroshima-gas.co.jp

## (株)広島建築住宅センター

代表取締役社長 生田 文雄

〒730-0013 広島市中区八丁堀  
15-10-3F  
☎082-228-2220  
http://www.hkjc.co.jp

## (株)プレック

代表取締役 深川 真

〒733-0821 広島市西区庚午北  
1-17-23  
☎082-500-8391  
http://www.prehouse.com

## (株)ミヤジ

代表取締役社長 宮地 宏治

〒722-0051 尾道市東尾道9-10  
☎0848-20-2111  
http://www.e-miyajii.com

## (有)元廣建築設計事務所

代表取締役 元廣 清志

〒722-0037 尾道市西御所町6-15  
☎0848-23-5300  
http://www.urban.ne.jp/home/madesign

株式会社 ティーエス・ハマト

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得

大規模修繕工事  
各種環境対応事業  
調査 診断 設計 施工〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2  
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)  
認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベルハウスプラス中国は  
迅速、的確な審査で、皆様の建物の  
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすばりカバーしています

ハウスプラス中国住宅保証株式会社  
http://www.jutakuhosho.com/広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル1階  
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608広島北支店：広島市安佐南区西原6-9-40-7 TEL：082-832-3310 FAX：082-875-4330  
福山支店：福山市西深津町1-10-1 TEL：084-973-9143 FAX：084-973-9146